

Kidswell.Bio

バイオで価値を創造する -こども・家族・社会をつつむケアを目指して-



証券コード：4584

リファイナンスによる資金調達 -適正な株価形成に向けて-

2024年12月26日

キッズウェル・バイオ株式会社

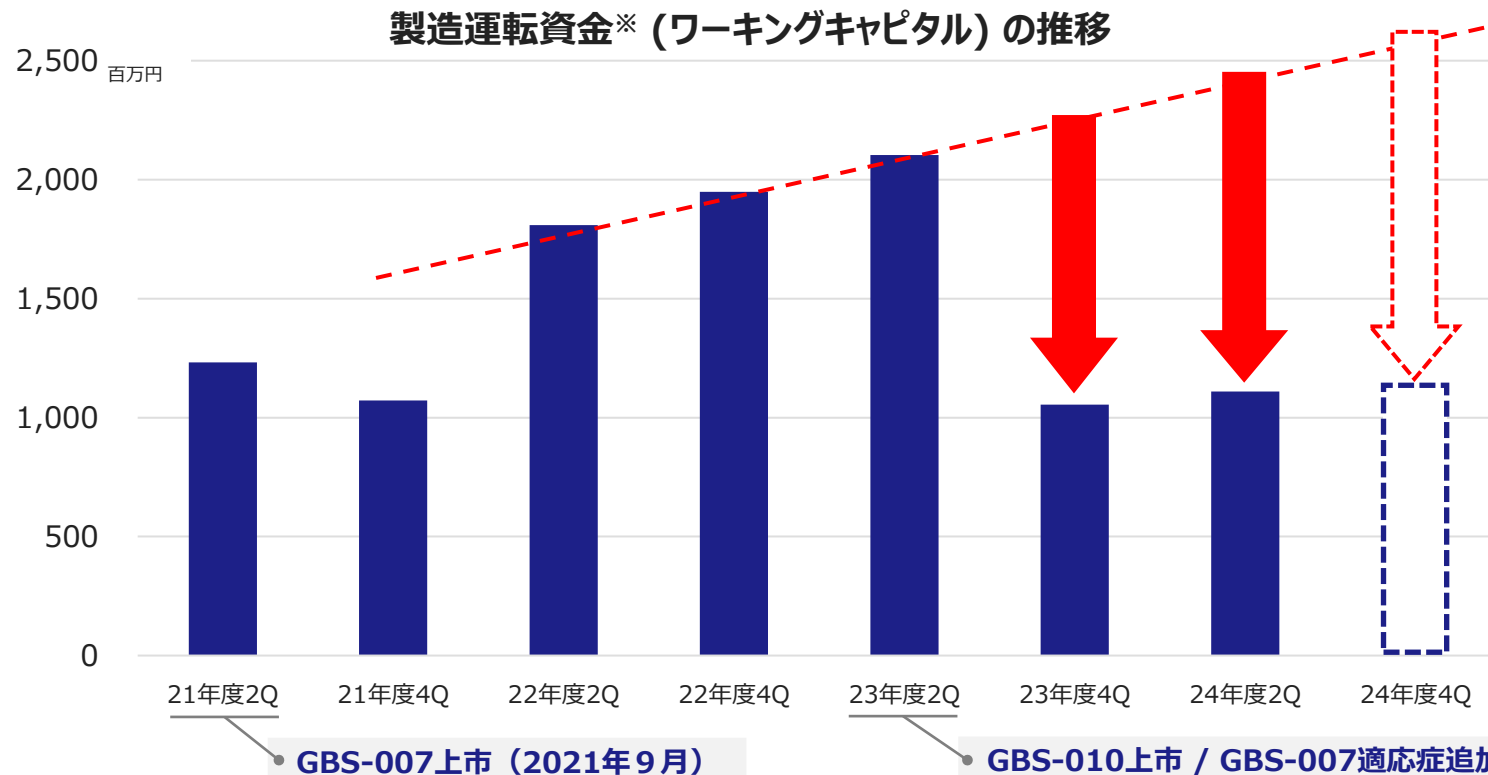
- 既存新株予約権等による株式市場からの資金調達によって、GBS-007の売上増加とGBS-010の上市を達成し、収益性向上・事業価値向上を実現した一方で、発行済み株式数の増加による株式価値の希薄化が生じた**
 - 事業成長を犠牲にしない範囲で資金ニーズを圧縮し、新株予約権数を削減することで、事業価値向上と希薄化低減を実現する**
- 新株予約権の発行による資金調達は割当先の行使によって徐々に資金調達が進む一方で、資金調達が長期化することで、オーバーハング懸念（行使によって取得された株式が株式市場で売却されることで株価が下落することに対する懸念）が払拭されず、株価の重しになり続けている**
 - 資金調達の完了によってオーバーハング懸念を軽減させ、下表のような事業成果に応じて適正な株価形成がなされる環境を整備する**

課題解決が間に合わず、一時的な株価上昇に終わった

主要な事業イベント*	タイミング*
<ul style="list-style-type: none"> GBS-010の承認取得/GBS-007の適応拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 2023年9月
<ul style="list-style-type: none"> SHED開発パートナーとの締約締結 	<ul style="list-style-type: none"> 2025年3月末まで
<ul style="list-style-type: none"> SHED臨床研究の中間解析結果発表 	<ul style="list-style-type: none"> 2025年9月頃
<ul style="list-style-type: none"> 新規バイオシミラー等に関する契約締結 	<ul style="list-style-type: none"> 2025年9月末まで
<ul style="list-style-type: none"> 営業黒字化の達成 	<ul style="list-style-type: none"> 2026年度

※現時点における見通しや計画を反映したものであり、今後進捗状況により変更される可能性があります。

- GBS-007の成長とGBS-010の上市準備に伴い、売上高の拡大とともに製造運転資金※は増加の一途をたどっていた
- 2023年6月以降、パートナー製薬企業との調整を重ね、支払い発生から資金回収までの期間短縮、および支払い条件変更等により、事業成長を一切犠牲にすることなく、製造運転資金を大きく圧縮
- 今後もパートナー製薬企業との調整を継続し、更なる製造運転資金の圧縮に取り組む



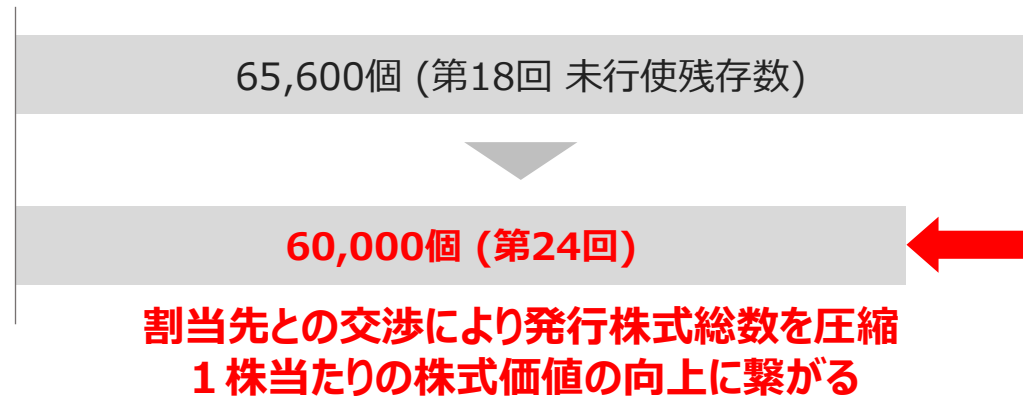
- 売上高が大きく拡大する一方で、**今期 (2025年3月期) 既に製造運転資金を10億円以上圧縮**
- **今期末に向けて最終的には約16億円の製造運転資金の圧縮を見込む**

株式市場から調達が必要な資金を約16億円削減可能となった

資金ニーズの大幅削減を受け、投資家と協議・交渉した結果、既存新株予約権（第15回、第18回新株予約権）を買入消却した上で、それぞれの行使価額を現在の当社株価水準に合わせた第23回、第24回新株予約権を新たに発行することで合意（リファイナンス）

- 1株当たりの株式価値に配慮し、既存新株予約権と比べ発行規模を7.1%縮小することで、希薄化を低減する
- 早期に資金調達を完了しオーバーハング懸念を軽減するとともに、確実にバイオシミラー事業の成長を実現する

	第18回新株予約権 (未行使残存数)	第24回新株予約権
発行株式数	65,600個 (6,560,000株)	60,000個 (6,000,000株)
当初行使価額	前日終値の90%	前日終値の90%
行使価額の修正	有り (1週間毎)	有り (1週間毎)
行使期間	30か月間	8か月間



	第15回新株予約権	第23回新株予約権
発行株式数	13,746個 (1,374,600株)	13,746個 (1,374,600株)
当初行使価額	前日終値の110%	前日終値の100%
行使価額の修正	無し (固定)	無し (固定)
行使期間	5年間	3年間



- これまでに発行した新株予約権等による資金調達で得られた資金によって、バイオシミラー事業は大きく成長した
 - 本リファイナンスにより
 - ① 今後の株式価値の希薄化を低減させる
 - ② 資金調達を早期に完了させオーバーハング懸念を軽減する
 - ③ 調達資金で更なるバイオシミラー事業の成長と2026年度の黒字額の最大化を実現させる
- ↓
- 今後も製造運転資金の適正化に継続的に取り組むとともに、間接金融等の活用を拡大し、**新株予約権による資金調達に依存しない事業展開を図る**



KIDS WELL, ALL WELL

こどもの力になれること、こどもが力になれること

本資料はキッズウェル・バイオ株式会社（以下、当社という）をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に含まれている今後の戦略・計画、将来の見通し及び その他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。そのため、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な要因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。